



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東名

上場会社名 名糖産業株式会社
コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 寛志
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 山崎 潔

TEL 052-521-7111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,929	6.7	△557	—	△272	—	△97	—
26年3月期第2四半期	8,366	△1.9	△464	—	17	—	5	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,575百万円 (30.3%) 26年3月期第2四半期 1,208百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△5.79	—
26年3月期第2四半期	0.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	48,562	35,374	72.6
26年3月期	46,687	34,254	72.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 35,236百万円 26年3月期 34,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	20.00	20.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	3.6	△500	—	△50	—	50	—	2.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	21,265,000 株	26年3月期	21,265,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	4,468,612 株	26年3月期	4,465,167 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	16,798,394 株	26年3月期2Q	16,801,192 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が4月の消費税率引き上げ後の落ち込みから抜けつつあるものの、その勢いに力強さが欠け、景気回復の足取りの弱さが懸念されるようになりました。夏の天候不順に加え、輸入品のコストアップなどで物価が上昇し、日用品などの消費が抑えられて、景気の下振れへの警戒感が広がりました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、消費者の生活防衛意識が根強いなかで、円安や相場の高騰による原材料やエネルギーのコスト上昇が収益を圧迫して、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、お客様の要望にお応えできる高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を推し進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて6.7%増の8,929百万円となりました。営業損益につきましては、事業活動の効率化やコストの削減に努めましたが、原材料価格の高騰などにより売上原価率が押し上げられて557百万円の損失となりました。前年同期は464百万円の営業損失でありました。また、経常損益は営業外収益の減少などにより、272百万円の損失となりました。前年同期は17百万円の経常利益でありました。四半期純損益につきましては、特別利益に新株予約権戻入益112百万円、特別損失に製品回収廃棄損23百万円を計上しました結果、97百万円の純損失となりました。前年同期は5百万円の純利益でありました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力の菓子部門は需要の回復がみられて増収となりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」や新商品の「宇治抹茶チョコレート」などのファミリータイプの商品が売上を伸ばし、増収となりました。しかし、キャンディ類は苦戦を強いられ減収となりました。

粉末飲料部門は、市場シェアの獲得に向けて企業間の販売競争が厳しさを増すなか、主力商品の「レモンティー」や「しょうが紅茶」などの売上が落ち込み、減収となりました。

主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、需要が高まる夏が天候不順でありましたが、受託商品の売上が伸びて増収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、売上規模の拡大を目指して精力的な商品提案や販売促進活動を展開しました結果、主力のパウムクーヘン類、ゼリー類がともに売上を伸ばして増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ8.2%増の7,763百万円となりましたが、営業損益につきましては、原材料価格の高騰や販売促進費の増加などにより、293百万円の損失となりました。前年同期は192百万円の営業損失でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては、販路拡大を目指してグローバルな営業活動を展開しましたが、海外企業との競争が厳しく、チーズ用凝乳酵素「レンネット」、脂肪分解酵素「リパーゼ」がともに前年同期を下回り、減収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」や癌転移検出用医療機器で使用される「デキストランマグネタイト」の売上は増加しましたが、臨床検査薬や高脂血症剤に用いられる「デキストラン硫酸」などの減少が影響し、減収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ2.1%減の1,014百万円となりました。営業損益につきましては、売上高の減少や減価償却費の負担などにより31百万円の損失となりました。前年同期は30百万円の営業損失でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、賃貸物件の一部について契約が終了したことなどにより、売上高は前年同期に比べ2.2%減の151百万円となり、営業利益は前年同期に比べ3.3%減の59百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ854百万円減少し、8,754百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が654百万円減少したことや、現金及び預金が552百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,730百万円増加し、39,808百万円となりました。これは、保有する株式の株価の上昇などにより投資有価証券が2,830百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1,875百万円増加し、48,562百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ87百万円増加し、5,394百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が406百万円増加したことや、その他に含まれる短期借入金が200百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ667百万円増加し、7,792百万円となりました。これは、繰延税金負債が868百万円増加したことや、長期借入金が277百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ755百万円増加し、13,187百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,120百万円増加し、35,374百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が1,680百万円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ439百万円減少し、1,790百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ223百万円減少し、822百万円となりました。資金の主な増加要因は、売上債権の減少額654百万円および減価償却費622百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加額413百万円であります。投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ310百万円増加し、330百万円となりました。資金の主な増加要因は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入608百万円であり、主な減少要因は、有価証券及び投資有価証券の取得による支出552百万円および有形固定資産の取得による支出395百万円であります。また、財務活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ468百万円減少し、931百万円となりました。資金の主な減少要因は、長期借入金の返済による支出457百万円、配当金の支払額334百万円および短期借入金の純減額200百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、食品事業の出荷が秋季から冬季に膨らむ傾向が強くなり、例年、上半期の業績は下半期に比べ相対的に低い水準となる傾向が強いこともあり、当第2四半期累計期間は、概ね当初の想定した範囲内で推移しております。現時点では通期の連結業績予想につきまして、平成26年5月14日に公表いたしました数値を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

なお、この変更に伴う期首の利益剰余金ならびに損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,253	1,700
受取手形及び売掛金	4,023	3,369
有価証券	1,199	998
商品及び製品	739	971
仕掛品	355	389
原材料及び貯蔵品	802	950
その他	254	409
貸倒引当金	△19	△35
流動資産合計	9,609	8,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,762	4,638
その他（純額）	6,763	6,801
有形固定資産合計	11,526	11,439
無形固定資産		
	72	65
投資その他の資産		
投資有価証券	25,361	28,191
その他	191	186
貸倒引当金	△73	△74
投資その他の資産合計	25,479	28,302
固定資産合計	37,077	39,808
資産合計	46,687	48,562

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,078	2,484
1年内返済予定の長期借入金	914	734
未払法人税等	5	7
返品調整引当金	8	4
その他	2,299	2,163
流動負債合計	5,306	5,394
固定負債		
長期借入金	1,007	729
繰延税金負債	3,542	4,411
役員退職慰労引当金	14	15
退職給付に係る負債	2,267	2,280
その他	292	354
固定負債合計	7,125	7,792
負債合計	12,432	13,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	33,064	32,631
自己株式	△8,546	△8,550
株主資本合計	25,907	25,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,077	9,758
退職給付に係る調整累計額	14	7
その他の包括利益累計額合計	8,092	9,765
新株予約権	254	138
純資産合計	34,254	35,374
負債純資産合計	46,687	48,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,366	8,929
売上原価	6,109	6,668
売上総利益	2,257	2,261
販売費及び一般管理費		
販売促進費	901	973
給料手当及び賞与	736	724
退職給付費用	93	41
役員退職慰労引当金繰入額	2	1
貸倒引当金繰入額	-	20
減価償却費	30	31
その他	957	1,026
販売費及び一般管理費合計	2,722	2,819
営業損失(△)	△464	△557
営業外収益		
受取利息	11	9
受取配当金	253	248
有価証券売却益	111	3
持分法による投資利益	98	16
その他	43	38
営業外収益合計	519	316
営業外費用		
支払利息	14	11
固定資産除売却損	21	16
その他	1	3
営業外費用合計	37	31
経常利益又は経常損失(△)	17	△272
特別利益		
新株予約権戻入益	-	112
特別利益合計	-	112
特別損失		
製品回収廃棄損	10	23
投資有価証券評価損	46	-
特別損失合計	56	23
税金等調整前四半期純損失(△)	△39	△183
法人税、住民税及び事業税	4	4
法人税等調整額	△49	△90
法人税等合計	△45	△85
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	5	△97
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5	△97

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	5	△97
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,203	1,680
退職給付に係る調整額	-	△7
その他の包括利益合計	1,203	1,673
四半期包括利益	1,208	1,575
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,208	1,575

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△39	△183
減価償却費	670	622
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	53	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	17
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は 益)	△111	△3
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は 益)	46	-
有形固定資産除売却損益(△は益)	21	16
受取利息及び受取配当金	△265	△257
支払利息	14	11
持分法による投資損益(△は益)	△98	△16
売上債権の増減額(△は増加)	806	654
たな卸資産の増減額(△は増加)	△463	△413
仕入債務の増減額(△は減少)	417	406
その他	△228	△283
小計	808	572
利息及び配当金の受取額	262	259
利息の支払額	△14	△11
法人税等の支払額	△11	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,045	822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支 出	△730	△552
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還 による収入	794	608
定期預金の払戻による収入	200	13
有形固定資産の取得による支出	△278	△395
その他	△5	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20	△330
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△580	△200
長期借入金の返済による支出	△457	△457
自己株式の取得による支出	△1	△4
自己株式の売却による収入	0	-
配当金の支払額	△334	△334
その他	△26	64
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,400	△931
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△374	△439
現金及び現金同等物の期首残高	2,488	2,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,113	1,790

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,175	1,036	155	8,366	—	8,366
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,175	1,036	155	8,366	—	8,366
セグメント利益又は損失(△)	△192	△30	61	△161	△303	△464

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,763	1,014	151	8,929	—	8,929
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,763	1,014	151	8,929	—	8,929
セグメント利益又は損失(△)	△293	△31	59	△265	△291	△557

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(別紙)

名糖産業株式会社

平成27年3月期第2四半期決算参考資料

(金額単位：百万円、百万円未満切捨)

1. 第2四半期連結累計期間(中間期)の実績推移
(連結)

	22/9月	23/9月	24/9月	25/9月	26/9月
売上高	9,670	9,626	8,524	8,366	8,929
営業利益	189	△22	△422	△464	△557
経常利益	558	259	△166	17	△272
四半期純利益	276	36	△348	5	△97

2. 通期の実績推移と業績予想
(連結)

	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期予想
売上高	22,088	21,069	19,216	19,302	20,000
営業利益	564	126	△192	△545	△500
経常利益	1,096	624	31	129	△50
当期純利益	708	377	47	△261	50

3. 事業別売上高予想
(連結)

	27/3期予想	増減率	26/3期
食品	17,400	2.8%	16,920
化成品	2,300	10.7%	2,077
不動産	300	△1.3%	304
合計	20,000	3.6%	19,302

4. 営業外損益の内訳(実績)
(連結)

	第2四半期連結累計期間		通期
	26/9月	25/9月	26/3期
営業外収益	316	519	734
受取利息及び配当金	257	265	429
持分法による投資利益	16	98	131
その他の営業外収益	41	154	172
営業外費用	31	37	58
支払利息	11	14	27
その他の営業外費用	20	22	31